

ごあいさつ



一般社団法人 防衛施設学会
理事長
大野 友則

平成 16 (2004) 年 3 月に設立した「防衛施設学会」は、平成 28 (2016) 4 月に「一般社団法人 防衛施設学会」として再出発いたしました。旧「防衛施設学会」においては、国家防衛と社会基盤の安全・安心に係る学会の趣旨に深い関心と賛同を向けられた正会員および多くの賛助会員の方々の支えによって、これまで学会の事業を滞りなく運営することができました。これも、会員の皆様に頂いた絶大なるご支援とご協力の賜物と、深く感謝申し上げます。

この「一般社団法人 防衛施設学会」においては、新たな学会役員を活動の基軸として、これまで以上に実のある活動を展開して行きたいと考えております。防衛施設学会が「一般社団法人」を冠した組織として新たに出発する最大のメリットは、「社会的信用・信頼性」の確保にあります。会員の皆様にとりましては、同じ活動であっても「社会的に信用される学会」での活動だと胸を張って発言していただけるのではないかと思います。また事業内容にも、新たに「技術評価委員会」を設置して企業等から提出される技術の評価を行うことを考えています。これで、組織的には他の学協会に比肩することができますし、内容的にも他には無い種類の運営活動を図って行きたいと考えています。

と言っても、活動内容は従前と大きな変化はありませんが、防衛施設技術に関しては検討・解決すべき問題も多く残されています。したがって、各種の理工学分野における既存の技術を活用して、「防衛施設技術の構築」を図りたいと考えております。その一つとして、「自衛隊施設の既設コンクリート構造物に係る調査・診断および補修関連部会」が平成 28 年 12 月に立ち上がりました。これからは、検討・解決すべき課題に対する種々の技術部会が益々必要となりますので、産官学の連携による部会の設置を推進して行きたいと考えております。

会員の皆様には、感謝とともに従前の通りのご支援とご協力を頂きたいとお願い申し上げます。